令和６年度特定建築物維持管理状況報告書(R6.4.1～R7.3.31)

令和　　年　　月　　日

(宛先)高松市保健所長

届出者　住所　（法人にあっては、主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名）

氏名

問合せ先	所属	
	氏名	
	電話番号	
記入者	会社名	
	所属・氏名	
	電話番号	

※届出者：特定建築物の全部の管理について権原を有する者の記名
　　連名で届け出されている場合は、連名で記名
※問合せ先：特定建築物の届出等に関する問合せ先
※記入者：この報告書の記載内容について、確認のできる方
　　(問合せ先と同様であれば、記載は不要です)

1　特定建築物の名称及び所在場所

施設番号	
名　称	
所在場所	

※施設番号は、封筒の宛名シール右下を参照してください。

2　特定建築物の用途

□興行場　□百貨店　□集会場　□図書館　□博物館･美術館　□遊技場
□店舗　□事務所　□事務所(一部店舗有り)　□学校(研修所)　□旅館

3　建築物環境衛生管理技術者

建築物環境衛生管理技術者氏名・管理技術番号	第　　号
他の特定建築物兼任状況	□他に兼任している　(施設名：　　) □兼任していない
管理技術者が自社員ではなく外部委託の場合	
会社名	
所属部署名	
電話番号	
管理技術者がビルに常駐	□している　□していない

4　環境衛生管理状況

（1）　空気環境の調整

ア　空気環境測定

空気管理設備			□中央管理方式　□個別管理方式 □空気調和設備　□機械換気設備　□設備無し(自然換気)	
測定地点			階建て　　ヶ所(外気測定分除く)	
居室のある階で測定していない理由				
空気環境測定(2ヶ月以内ごと)			□実施　□未実施	2か月以内ごとの測定結果のうち、1つでも基準値外がある場合には、「不適」となります。 ※1の3項目については、1日の使用時間中の平均値をもって基準と比較すること
浮遊粉塵の量(0.15mg/m^{3}以下)		※1	□適　□不適	
一酸化炭素の含有率(6ppm以下)			□適　□不適	
二酸化炭素の含有量(1000ppm以下)			□適　□不適	
温度(18℃以上28℃以下)			□適　□不適	
相対湿度(40%以上70%以下)			□適　□不適	
気流(0.5m/S以下)			□適　□不適	
新築・増設・大規模の修繕・大規模の模様替えの有無			□有　(　年　月)　□無	
大規模改修等が有の場合				
	ホルムアルデヒドの測定年月		年　月	
	ホルムアルデヒド量(0.1mg/m^{3}以下)		□適　□不適	
	空気環境測定記録の添付		□有 □無　(理由：　)	

※ホルムアルデヒド：新築・増設・大規模の修繕・大規模の模様替えを完了し、
当該建築物の使用を開始した時点から直近の6月から9月に実施する。

イ　冷却塔

冷却塔の有無等		□有　□無　□有するが休止中
冷却塔が有の場合		
冷却塔の使用月		月　～　月
冷却塔の供給水及び必要な措置		□水道水　□水道水以外　(　)
	水道水以外の場合、水質検査	□実施　(□適　□不適　)　□未実施
冷却塔、冷却水の汚れの点検 (1ヶ月以内ごと)		□実施　□未実施
冷却塔、冷却水の水管の清掃 (1年以内ごと)		□実施　□未実施
冷却塔供給水の水質検査結果の添付		□有 □無　(理由：　)

ウ　加湿装置

加湿装置の有無等		□有　□無　□有するが休止中
加湿装置が有の場合		
加湿装置の使用月		月　～　月
加湿装置の供給水及び必要な措置		□水道水　□水道水以外　(　)
	水道水以外の場合、水質検査	□実施　(□適　□不適　)　□未実施
加湿装置の汚れの点検 (1ヶ月以内ごと)		□実施　□未実施
加湿装置の清掃 (1年以内ごと)		□実施　□未実施
排水受けの汚れ及び閉塞の状況の点検 (1ヶ月以内ごと)		□実施　□未実施
加湿装置供給水の水質検査結果の添付		□有 □無　(理由：　)

（２） 飲用水等の管理

ア 飲料水

飲料水の種類(水源)	□水道水 （ □直圧 □小規模受水槽 □簡易専用水道 ） □専用水道 □地下水等
小規模受水槽・簡易専用水道・地下水等に該当する場合	
小規模受水槽・簡易専用水道の場合、受水槽の有効容量	m^3
簡易専用水道の法定検査受検日	月 日
一般細菌等16項目水質検査(６ヶ月以内ごと)	□適 □不適
トリハロメタン等12項目水質検査(１年以内ごと)	□適 □不適
残留塩素測定(７日以内ごと)	□実施 □未実施
残留塩素濃度(遊離0.1ppm以上又は結合0.4ppm以上)	□適 □不適
防錆剤の使用の有無	□有 □無
地下水等に該当する場合	
ベンゼン等7項目水質検査(３年以内ごと)	□適 （ 年 月） □不適
法定検査結果書・水質検査結果・残留塩素測定記録の添付	□有 □無 （理由： ）

イ 給湯設備

給湯設備の種類	□中央式 □局所式 □給湯設備なし
中央式の場合	
一般細菌等16項目水質検査(６ヶ月以内ごと)	□適 □不適
トリハロメタン等12項目水質検査(１年以内ごと)	□適 □不適
ベンゼン等7項目水質検査(地下水等は３年以内ごと)	□適 （ 年 月） □不適
湯槽内等の湯温(管理要領：湯温が湯槽内60℃以上、末端の給湯栓55℃以上)	□管理要領の湯温で管理 □管理していない
管理要領の湯温で管理していない場合	
残留塩素測定(７日以内ごと)	□実施 □未実施
残留塩素濃度(遊離0.1ppm以上又は結合0.4ppm以上)	□適 □不適
水質検査結果・残留塩素測定記録の添付	□有 □無 （理由： ）

※ 一般細菌等：鉛及びその化合物、亜鉛及びその化合物、鉄及びその化合物、銅及びその化合物、蒸発残留物の５項目については、水質基準に適合していた場合、その次の回の水質検査は省略できる。

※ トリハロメタン等(塩素酸を除く)：６月から９月に実施する。

※ ベンゼン等：地下水を使用している場合、直近の水質検査の年月を記載する。

（３） 雑用水の管理(旅館における浴用水を除く)

雑用水の種類	□水道水 □水道水以外	
水道水以外の場合		
雑用水の種類(雨水・地下水・下水再生水等)毎に、その用途(散水・浸透式の水遣り・清掃用水・トイレ洗浄水等)を記載	種類	用途
雑用水の水槽の点検	□実施 □未実施	
pH値等水質検査(７日以内ごと)	□実施 □未実施	
pH値(5.8以上8.6以下)	□適 □不適	
臭気(異常でないこと)	□適 □不適	
外観(ほとんど無色透明であること)	□適 □不適	
大腸菌等水質検査(２ヶ月以内ごと)	□実施 □未実施	
大腸菌(検出されないこと)	□適 □不適	
濁度(２度以下、トイレ洗浄水は適用外)	□適 □不適	
残留塩素測定(７日以内ごと)	□適 □不適	
残留塩素濃度(遊離0.1ppm以上又は結合0.4ppm以上)	□適 □不適	
水質検査結果・残留塩素測定記録の添付	□有 □無 （理由： ）	

（4） 受水槽等の清掃

受水槽の清掃の実施月 （毎年１回以上、定期に）	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
貯湯槽の清掃の実施月 （毎年１回以上、定期に）	□4月 ☑5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
雑用水槽の清掃の実施月 （必要に応じて）	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
受水槽等の清掃記録の添付	□有 □無 （理由： ）

（5） 排水設備の管理

清掃の実施月（６ヶ月以内ごと）	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
排水設備の清掃記録の添付	□有 □無 （理由： ）

※排水設備：合併処理浄化槽・排水槽・排水管・通気管・阻集器・排水ポンプ等

（6） 清掃等の実施

大清掃実施月（６ヶ月以内ごと）	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
清掃用機器等の点検の実施月 （要領：６ヶ月以内ごと）	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
廃棄物保管場所等の管理の実施月 （要領：６ヶ月以内ごと）	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
大清掃記録の添付	□有 □無 （理由： ）

※大清掃：床面の洗浄・ワックスがけ、カーペットクリーニング、高所の壁・天井の清掃、照明器具の清掃、ガラスクリーニング、ブラインドの清掃等の日常清掃以外の清掃
※清掃用機器等の点検：機械器具・洗剤タンク等の点検、保管庫内の整頓等
※廃棄物保管場所等の管理：収集・運搬設備、貯留設備等の定期点検、補修、消毒等

（7） ねずみ等の防除

生息調査実施月 （６ヶ月以内ごと）	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 □1月 □2月 □3月
防除実施月 （調査結果に基づき実施）	□実施の必要なし □実施 □駆除のため （実施月： ） □予防のため （実施月： ）
ねずみ等の調査及び防除実施記録の添付	□有 □無 （理由： ）

（8） 令和７年度の年間計画表の写しの添付 □有
□無 （理由： ）